

第3回 幼稚園再編に係る地域協議会(壱分幼稚園)

日 時： 令和3年6月9日(水)

午後3時から

場 所： 壱分幼稚園リズム室

次 第

- 1 こども園(南こども園)について
- 2 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案(以下「原案」という。)に対する追加意見の共有について
- 3 原案に対する意見を踏まえた課題と考えられる対応について

配布資料

【資料1】 こども園について

【資料2】 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対して
提出された追加意見

【資料3】 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対する
意見を踏まえた課題と考えられる対応

【資料4】 意見書案



こども園の1日



【3歳未満児クラス】 (3号認定児)

| 時間 | 月～金曜日 | 時間 | 土曜日 |
|-------|-------------|-------|------------------|
| 7:00 | 随時登園 | | |
| | | 7:30 | 随時登園 |
| 8:30 | 年齢別保育 | 8:30 | 3歳未満児クラス 合同保育 |
| 9:30 | おやつ 遊び | 9:30 | おやつ 遊び |
| 11:30 | 食事 昼寝 | 11:30 | 食事 昼寝 |
| 15:00 | おやつ 随時降園 | 15:00 | おやつ 随時降園 |
| | | 18:00 | 保育終了 |
| 19:30 | 保育終了 | | |

【3歳以上児クラス】

| 時間 | 1号認定児 | | 2号認定児 | |
|-------|--------------|-------|-------------------|-------------------|
| | 月～金曜日 | 月～金曜日 | 月～金曜日 | 土曜日 |
| 7:00 | 随時登園 合同保育 | | | |
| 7:30 | | 預かり保育 | | 随時登園 |
| 8:45 | 登園 | 学年別保育 | 3歳以上児クラス 合同保育 | 遊び |
| 9:00 | | | | |
| 12:00 | 食事 | | 食事 | 食事 |
| 13:00 | 遊び | | 昼寝 | 昼寝 |
| 14:00 | 降園 | 預かり保育 | おやつ 遊び 随時降園 | おやつ 遊び 随時降園 |
| 14:30 | | (昼寝) | | |
| 15:00 | | | | |
| 17:00 | | | | |
| 18:00 | | | | |
| 18:30 | | 保育終了 | | |
| 19:30 | | | 保育終了 | |

1号認定児は、水曜日は半日保育(11:30まで)になります。
11:30以降、預かり保育が実施されます。

※1号認定児…満3歳以上の未就学児(2号認定除く)

※2号認定児…満3歳以上で保護者が保育を必要とする事由に該当し、保育を必要とする子ども

※3号認定児…満3歳未満で保護者が保育を必要とする事由に該当し、保育を必要とする子ども



「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対して提出された追加意見**①園児の通園の負担及び通園時の安全に関すること**

運動会等大きな行事の時は、通園距離が長いご家庭は車で来園されると思うので、たくさんの駐車スペースが必要になると思います。

送迎のための駐車スペース確保とありますが、壱分幼稚園前の道路は7:30～9:00までの間、進入禁止となっています。違反車や周辺道路に駐車する車が増えるのではないかと。

送迎のための駐車場には園区外の方しか駐車できないのでしょうか。駐車場ができたり車の往来が多くなるなら、警備員を配置して欲しい。

統合される側の園児は通園が遠くなる。通園バスの範囲が広がったとして、その費用負担はどうなるのか。

②再編の環境変化に伴う園児及び保護者への対応に関すること

なばた幼稚園の良い所はそのまま引き継ぎつつも壱分幼稚園らしさは失わずに先生方には頑張ってくださいたいです。応援しています。

統合されると決まると統合される園に入園する子どもの数がさらに減少すると思います。さらに少人数になったなばた幼稚園に通う子どもたちの園生活が寂しくならないようにしてほしいです。壱分幼稚園がこども園に向けて準備していく際、できるだけ子ども達の園生活が不自由にならないようにしてほしいです。

今、1クラスで人数も多いし不便なこともたくさんあるので、園児数が増えるなら活気もでるし嬉しいです。賛成。

③幼稚園と地域との関係に関すること

我が家ではかねてから地域の方との関わり合いは非常に大切なものだと思っているので、こども園になってからも、それは是非継続していただきたいと思います。なばた幼稚園が大事にしてきた地域交流も取り入れることができれば良い。

なばた幼稚園が今までされてきた地域との交流をなくすのではなく、うまく取り入れてほしいと思います。

保幼小の交流は入学に対する不安軽減につながっていると思う。壱分小・東小の両方との交流が必要となってくるが可能なのか。

両園の良い所を取り入れるのが良いと思う。いろんな大人と接するのが子どもにとって良い事。

④跡地の利活用に関すること

公共の施設が良いと思う。できれば子どもが使えるようなもの。

⑤特別な配慮を要する園児への対応に関すること

年少から統合するなら環境が変わって難しいということは考えにくいのでは。移動は車で送迎すれば大丈夫なのではないか。

園生活でのサポートは先生や子ども達、保護者でできるのではないか。できるだけ子ども自身の力で頑張ってもらい、無理なところをサポートするではダメか？皆で力を合わせて乗り越えていけばいいのでは。

その他意見

統合となると通遠距離が長くなる家庭があり、PTA活動や園の行事に参加しにくくなるのではないか。

なばた幼稚園では反対意見が出ていると聞いたが、どのような意見が出ているのか聞かせてもらわないとわからないし、統合の話なんて絶対に進まないと思う。

基本的には賛成です。ガードマンをつけたり、車が多くなる点に配慮をしてもらえらなら統合は嬉しいです。こども園にしてもらえらなら2人目を考えようと思っていたのですごく嬉しいです。年中や年長で園が変わるとするのは避けるべき。

なばた幼稚園、壱分幼稚園が統合してこども園になることに賛成です。その際、通園バスの運行拡大は必須だと思います。車で送迎の方がいるのであれば、送迎・来客用の駐車場を設置した方が良いでしょうと思います。（路上駐車が増えたり、送迎の車で駐車場が混み合ったり事故が発生しないように注意は必要。）厨房ができれば、子ども達はいつも温かいお昼ご飯を食べることができて良いと思います。少子化問題がこんな身近なところに迫ってきているとは今まで感じられませんでした。より良い保育施設になるよう見守っています。

「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対する意見を踏まえた課題と考えられる対応

| 具体的な課題 | | 考えられる対応 |
|-------------------------|---|---|
| ①園児の通園の負担及び通園時の安全に関すること | | |
| (1)通園バスの利用料について | バスに乗る必要が生じる場合の負担について、対応が必要である。減額や無償化を検討してほしい。 | |
| (2)通園バスの拡大・ルートについて | なばた園区の園児に配慮した運用。 | なばた園区の園児を優先した運用にしてはどうか（ご意見より） |
| | どのようなルートになるのか、どこまで来れるのか。 | 両園区をカバーするような広範囲のバス運用。 |
| (3)駐車・駐輪スペースの確保について | どこに確保するのか。園庭を利用したら狭くならないか。 | まずは園庭以外で検討が必要である。あり方検討委員会では、小学校正門前のフェンスで囲まれたスペースを想定。 |
| | 行事の際にどのように対応するのか。 | 近隣のスポーツ公園や小学校の利用。（ご意見より） |
| (4)交通安全や道路整備について | 周辺の道路状況は適切か。 | <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全確認が必要。 ・送迎車両について、通行規制の対応が必要であるため、自治会、警察、小学校との調整が必要。 |
| | 壱分小学生の安全は確保されるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会、警察、小学校と調整し、交通規制やゾーン30の導入などを図る。 ・警備員を配置する。（ご意見より） |
| (5)遠方からの通園者の負担について | なばた園区からは負担が大きい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・通園バスの運行拡大。 ・時差通園など配慮してはどうか。（ご意見より） |
| | | |
| | | |
| | | |

| 具体的な課題 | | 考えられる対応 |
|--------------------------|--|---|
| ⑥その他 | | |
| (1) 園庭等敷地の問題について | 園児が増え、園庭が狭くないか。 | 適正な保育環境が確保される園児数が見込まれる時点での統合・こども園化を行う。 |
| (2) イベント時の来園について | 駐車場は確保できるのか。 | 近隣のスポーツ公園や小学校の利用。（ご意見より） |
| (3) 入園希望が増え、定員オーバーにならないか | 教室や園庭は足りるのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 適正な保育環境が確保される園児数が見込まれる時点での統合・こども園化を行う。 ・ 両園区内（現在は園区設定は無いが旧園区を適用）の園児が不利益を受けないように考慮する。 |
| (4) 園児が私立に流れないか | 人数を確保し続けることができるのか。 | 私立のメリットを取り入れたり、公立幼稚園の特色を出していく。（ご意見より） |
| (5) 幼稚園を軸とした行事の日程について | 行事が平日になると就労家庭は参加できない。 各家庭環境に配慮できるか。 | 南こども園をはじめ、市内民間こども園などの取組を参考に検討する。 |
| (6) 両地区開発による世帯増加 | 子どもの数が増えて、定員オーバーにならないか。 | 両園区内（現在は園区設定は無いが旧園区を適用）の園児が不利益を受けないように考慮する。 |
| (7) 園児の帰宅時間の差について | イジメにつながらないか。 | 南こども園の経験を活かし、そのような事が起きないように配慮を行う。 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

(案)

令和 年 月 日

生駒市教育委員会 様

幼稚園再編に係る地域協議会
(壱分幼稚園区)

再編についての意見書の提出について

生駒市教育委員会は、令和2年10月に「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」(以下「基本的な考え方」という。)に基づき、なばた幼稚園と壱分幼稚園を統合し、こども園化する再編案を示しました。

これまで、「基本的な考え方」についての市民説明会、意見交換会などで多くのご意見が寄せられています。壱分幼稚園再編に係る地域協議会は、この再編案について、保護者や地域としての意見をとりまとめ、生駒市教育委員会に対して意見書を提出するために、保護者や地域の代表(資料1 意見書提出時委員名簿)により組織されました。

当協議会は、これまでに●回の協議を経て、下記のとおり意見を取りまとめましたので、提出します。

記

1 協議事項

市立幼稚園の園児数は、近年減少が続き、令和2年度の園児数は平成27年度比で43.6%まで減少し、空き教室も目立つようになりました。園児数の減少により少人数の園では、園児が集団の中で多様な考え方にふれ、試行錯誤する機会が少なくなりやすく、人間関係においても固定化しやすくなる傾向にあると言われてしています。

このような状況の中、生駒市教育委員会は望ましい幼稚園規模を確保し、幼稚園に関する課題に対応するために、なばた幼稚園と壱分幼稚園を統合し、こども園化する再編案を示しました。当協議会はこの再編案を検討するにあたり、懸念される課題と解決策を検討するため、地域や保護者から意見を聴取し(資料2 意見聴取の概要、資料3 開催経緯)、以下の点について協議を重ねてきました。

- (1) 再編を検討するに当たり、懸念される課題と必要な対応
- (2) 再編に対する修正案や提案

(3) 方向性をとりまとめるためのその他の検討事項

2 協議会としての意見

幼稚園の再編は、園児や保護者に及ぼす影響が大きいことから、生駒市教育委員会が示している「具体的な方策を実施する際に留意すべきこと」について、当協議会で意見を取りまとめました。

(1) 園児の通園の負担及び通園時の安全に関すること

園児にとって通園環境は非常に重要であるため、過剰な負担にならないよう、また、安全に通園できるよう以下の点に配慮すること。

- ・再編により通園バスの運行が必要となった場合は、利用料金の減額や無償化などの公費負担を検討するとともに、その運行経路については、安全を考慮した上で、できる限り利用者の要望に応えること。
- ・保護者の負担軽減や混雑回避のために、時差通園も検討すること。
- ・保護者の送迎の際の駐車・駐輪場所について、園庭の利用以外で確保できるよう、小学校前のスペースの活用などを検討し、路上駐車など近隣住民の迷惑にならないよう考慮すること。また、周辺道路の通行規制の見直しなど自治会や関係機関と協議の上、園児だけでなく小学生や地域の安全確保に努めること。

(2) 再編の環境変化に伴う園児及び保護者の対応に関すること

再編により様々な環境変化が考えられるため、園児が安心して過ごせる環境を整えるとともに、保護者に対して日々の園生活に関する積極的な情報発信や丁寧な相談対応等、必要な心理的支援を行うこと。

- ・園児数が増えても、職員の適正配置のため職員数を確保すること。
- ・在園児は、在籍している園で卒園できるよう対応すること。また、園児募集の際には入園前に十分な説明を行い、保護者の選択により再編まで園児を受け入れること。
- ・私立幼稚園の良い部分を取り入れつつ、公立幼稚園独自の特色も発揮できるよう園運営に取り組むこと。
- ・少人数の利点が損なわれないよう努めること。

(3) 幼稚園と地域の関係に関すること

園が地域とともに子育てをする場であることに配慮し、地域や小学校との交流について、積極的に取り組むとともに、なばた幼稚園の周辺地域とも園外活動などを通じてつながりを持つこと。

(4) 跡地の利活用に関すること

幼稚園跡地及び施設の利活用については、市長部局との連携のもと、地域と十分協議した上で、市として総合的に検討すること。

- ・ 保育園、学童、病児保育施設などの子育て支援につながる施設や運動場、空き教室を利用した子どもや地域の人々が集える場所を検討すること。
- ・ 近隣の学校や福祉施設等にふさわしい施設の建設、民間事業者の誘致など、あらゆる方向で検討すること。
- ・ 市民アンケートなどでニーズを的確に把握した上で、市として総合的に検討すること。また、その際は、地域と十分に協議すること。

(5) 特別な配慮を要する園児への対応に関すること

移動面や教育・保育面において不利益が生じないよう必要な対応策を講じること。

- ・ 環境の変化は最小限にし、現在の幼稚園や保育園と同様に適切な保育教育を継続すること。
- ・ きめ細やかな関わりができるよう、幅広い募集を行い、職員を適正に配置すること。

(6) その他

- ・ 園児の増加に伴って園庭が狭くなったり、教室数が足りなくなったりしないように、適切な保育環境が確保される園児数が見込まれる時点での再編を行うこと。
- ・ 園の行事の日程については、各家庭環境に配慮して不公平のないように対応すること。
- ・ こども園化により降園時間に差が生じるため、南こども園や以前の経験を活かし、いじめにつながることをしないよう配慮すること。

資料1

意見書提出時委員名簿

| 区分 | 氏名 | 所属団体・役職等 |
|-------|-----------|----------|
| 学識経験者 | 森 本 正 一 | 元学校長 |
| 自治会 | 井ノ上 善 太 郎 | 壱分町西自治会長 |
| | 坂 本 剛 伸 | 壱分町東自治会長 |
| | 中 瀬 讓 次 郎 | さつき台自治会長 |
| 育友会 | 大 平 嘉 子 | PTA副会長 |
| | 前 綾 | PTA副会長 |
| 学校評議員 | 宇 高 宗 喜 | 学校評議員 |
| | 板 倉 美 知 | 学校評議員 |
| | 新 町 茂 之 | 学校評議員 |
| 地域 | 清 水 泰 之 | 地域住民 |
| 老人会 | 中 嶋 正 秀 | 老人会 |
| 幼稚園 | 新 土 和 美 | 壱分幼稚園長 |
| 行政 | 坂 谷 操 | 教育こども部次長 |

事務局

生駒市教育委員会事務局教育こども部こども課

資料 2

意見聴取の概要

1 意見聴取の方法（令和3年3月31日現在）

(1) 壱分幼稚園再編に係る地域協議会参加団体による意見聴取

意見聴取票その他様式による意見聴取

壱分町東自治会 さつき台自治会 他

(2) PTA 役員を対象とした市教育委員会(こども課)による説明会

場所: 壱分幼稚園

日時: 令和3年3月3日(水)9:15～

2 意見聴取の期間

令和3年2月3日(第2回地域協議会)～

3 意見聴取した件数（令和3年3月31日現在）

合計 90件

意見聴取票による聴取 81 件

その他書面 9件

資料3

開催経緯

| | 開催日時 | 主な協議事項 |
|-----|-----------------|---|
| 第1回 | 令和3年2月3日(水)午後3時 | ・「基本的な考え方」に対するこれまでの意見と課題整理について ・各関係者等からの意見聴取について ・今後のスケジュールについて |
| 第2回 | 令和3年4月6日(火)午後3時 | ・原案に対する意見の共有と整理について ・原案に対する追加意見について ・原案に対する意見を踏まえた課題の整理について |
| 第3回 | 令和3年6月9日(水)午後3時 | |
| 第4回 | | |
| 第5回 | | |
| | | |
| | | |